

「常に自らも最前線で挑み続ける存在でありたい」



## アイデアと自分らしさを活かし、輝く秘訣

【動物病院の中で様々な役割を担う相澤さん。

これまでの歩みや、動物と飼い主さん、スタッフとの向き合い方にも注目です！】

Q. 現在までの働き方

国際動物専門学校卒業 日本動物医療センター入社

3年目 広報誌「Smile」編集長就任

4年目～ うさぎプロジェクトリーダー就任

6年目 結婚・妊娠

7年目(現在)産育休取得中



Q. 相澤さんが今1番力を入れている取り組みは何ですか？ そのきっかけもぜひ教えてください

うさぎに対する診療レベルの向上です。

私の働く病院では、うさぎにやさしい病院づくりのためのプロジェクトチームが発足されており、現在、私はこのチームの統括を行っています。

身も心も繊細なうさぎの扱いや、その性質ゆえに、犬猫に比べご家族との信頼関係を築くのに時間が掛かるのは、どの病院でも珍しくないことかと思えます。

そんな中で、いかにうさぎが過ごしやすい環境を作り、ご家族の不安を取り除く事ができるか日々研究をしているのが、このうさぎプロジェクトです。

チームメンバーの協力により、この4年で外来件数は6倍にも増え、この結果がさらに仕事への自信に繋がりました。幼い頃からうさぎと生活を共にしてきた経験を元に、私が病院で出来る事のひとつとして、今後も力を入れて取り組んでいきたいと思っています。

Q. 相澤さんの行動力や向上心は、働き始める前と後で、変わってきたと感じますか？

昔から何事も楽しくないと意味がないと思っていて、若い頃から時間は惜しく感じていました！ただ、それを強くさせたのは同期の存在です。先輩達からは私の強い代と言われますが(笑) 個々が自分の意思を持ち行動力のある人達なので、いつも私も頑張らなくてはと刺激を貰っています！仕事面ではかなりの原動力です！



Q. 仕事の中で大変だったことのエピソードと、それを乗り越えた方法を教えてください

普段の入院看護や夜勤での仕事は、**何年経っても毎年新たな発見があり、壁にぶつかる事も少なくありません。**そんな時、**私がいつも乗り越えて来られたのは、職場の仲間が居たから**だと思います。

昨年、私は初めての妊娠を経験し、体調面で思うように働けない時期がありました。急にしばらくお休みを頂く事になり、現場に負担を掛けてしまう場面で精神的にも落ち込んでいました。そんな時、スタッフは私を責めるどころか、「無理したら怒るよ」と言う先輩や「いつもの恩返しをさせて下さい」と言う後輩、「あなたの分まで頑張る」と言ってくれた同期が居ました。



私はこの言葉に救われ、**スタッフがお互いを思いやり助け合える環境だからこそ、それを患者に向けられるのだと、ライフステージの変化のタイミングに改めて感じる事となりました。**仕事を続けていく上で、職場環境は非常に大事なものだと思います。

Q. 今後の目標や展望を教えてください！

自分自身が若い頃からたくさんチャンスを与えてもらってきたので、**これからは、今積極的に活躍してくれている後輩たちの背中をぐいぐい押したい**と思っています。といっても、ただ後ろからみているだけでなく、**常に自らも最前線で挑み続ける存在でありたい**です。ただ同じ毎日過ごすのではなく、**いかに自分の働き方(自分だから出来る事)を見出すかが楽しく仕事を続けていくコツなのでは！?**と思います。現在は産育休中の身ですが、今後また**新たな生活の中で、どう働いていくか悩むのも私の楽しみのひとつ**です。



相澤さんの事例から考えてみよう！



動物看護師としてのキャリアデザインは、自分の人生の中にVNの仕事をどのように組み込むか？ライフプランとキャリアプランを合わせて考えることが大切です。

それは正解、不正解、があるわけでも、出世や成功を求めるためのプロセスではなく、自分らしく生きるためのプロセスです。

これまでの経験→現在の役割や状況→未来に向けて。

相澤さんのように、年齢を重ねると共に変化していく状況や、環境の中で、動物看護師として、どうありたいか、今の自分には何が出来るのかを考えていくことで、自分自身に価値を見出すことは、自分らしく生きることにつながっていきます！

誰でも置かれた場所で輝くことが出来るはずですよ！

そのための、今いる職場だからこそできること、大切にしたい看護観、皆さん個人が力を注ぎたい事、これだけは負けたくない！と思える強みにしたい事をぜひ一緒に、考えて行きましょう！

